



ドキュメンタリー番組

キネマまっぴんシアター vol.4

特別上映会

10月22日(土) 開演13:30 (開場12:30)

キッセイ文化ホール 大ホール 事前申込(抽選)

ネイチャー&ヒューマンズスペシャル シリーズ11

木曾馬と 生きる

風わたる里 開田高原



ナレーター/木南晴夏

特別編

よみがえり 神の鳥



第52回(2021年度)科学放送高柳賞 優秀賞

ネイチャー&ヒューマンズスペシャル シリーズ11

4K撮影

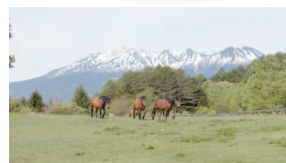
木曾馬と生きる 風わたる里 開田高原

「木曾馬のふるさと」として知られる長野県木曾町開田高原。一時は絶滅の危機を迎えていた木曾馬を、開田の人たちが大切に守ってきた。木曾馬保存の第一人者中川剛さん(44)は、20歳で「木曾馬の里」にやってきて以来、馬の飼育や繁殖、木曾馬が活躍する場を模索し続けている。

馬としては高齢の20歳の「ひのき」が出産。生まれたばかりの仔馬は、しばらくすると自力で立ち上がり、上手に母乳を飲み始めた。その一方、生まれてすぐ過酷な試練に見舞われる仔馬がいた。

種を守り継ぐことの意義とは…。木曾馬の出産から、愛情あふれる子育てや仔馬の成長、親離れの瞬間まで、貴重な場面を撮影。人と馬の1年を4K撮影による圧倒的な映像美で描いた。

(2022年1月放送)



よみがえれ神の鳥 特別編

国の特別天然記念物で、絶滅の危機に瀕しているニホンライチョウ。2018年、1羽の雌が中央アルプス・木曾駒ヶ岳で確認された。中央アルプスのライチョウは半世紀前に絶滅したとされており、別の山から飛来しすみ着いたとみられる。この好機を逃さず環境省は前代未聞の復活作戦に打って出た。作戦を指揮するのは、ライチョウ研究の第一人者・信州大学の中村浩志名誉教授と、その弟子で環境省の小林篤専門官。

古くから山岳信仰と結びつき、人の手で崇め守られてきたニホンライチョウが、気候変動や生態系の変化など、人間がもたらしたものによって生存が脅かされている。研究者の保護活動を通し、自然と人間とのあり方を考える。(2021年2月放送)

第52回(2021年度)科学放送高柳賞 優秀賞



abn長野朝日放送 ドキュメンタリー番組 特別上映会

キネまつぶんシアター vol.4

2022年10月22日(土) 開演13:30(開場12:30)

キッセイ文化ホール 大ホール(長野県松本市大字水汲69-2)

※事前にお申し込みが必要です。※応募多数の場合は抽選、当選者のみ入場券を発送いたします。

お申し込み

abnアプリ
ダウンロード無料

Android用



iPhone用



- 申込締切: 10月5日(水)
- お問い合わせ: キッセイ文化ホール TEL0263-34-7100
abn長野朝日放送 TEL026-223-1000(代)
- 主催: abn長野朝日放送 キッセイ文化ホール【(一財)長野県文化振興事業団】
- 共催: 長野県・長野県教育委員会

入場無料



—— 新型コロナウイルス感染防止対策 ご来場の皆さまへのお願い ——

- ・発熱や風邪症状(咳、のどの痛み)などがある方、体調のすぐれない方は、来場をお控えください。
- ・館内では、マスクの着用をお願いいたします。マスクを着用されていない方のご入場をお断りする場合があります。
- ・入館時の検温・手指消毒にご協力ください。37.5度以上の発熱や風邪症状等の不調がある場合は、入場をお断りいたします。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、必要に応じてお客様の個人情報を保健所等の公的機関に提供する場合があります。

または、abnホームページ

<https://www.abn-tv.co.jp/event/documentary/>



※重複してのご応募はご遠慮ください